

構造改革特別区域計画

1. 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

新潟県北魚沼郡入広瀬村

2. 構造改革特別区域の名称

入広瀬村さんさい共和国再生特区

3. 構造改革特別区域の範囲

新潟県北魚沼郡入広瀬村の全域

4. 構造改革特別区域の特性

(1) 中山間地農業の現状

本村は新潟県の中央東端にあって、福島県境に位置し、1,500m級の山々に囲まれた豪雪山村である。総面積 272.14 km²で、このうち90%を山林・原野が占め、住居・耕地は210mから550m付近に散在し破間川上流に展開する峡谷型の山村である。

本地域の農業は古来より水稻が基幹であり、魚沼米の産地でもある。畑作については自家消費程度で、生産調整によりクワイといった新しい作物が生産されてきたが、作業内容等が厳しく栽培者の高齢化により栽培農家の減少が懸念されている。一方、食の安全に対する国民的な意識の高まりとともに、農山村の自然の中での農作業体験等、中山間地農業への期待は高まりつつある。

しかしながら、過疎化、高齢化は依然として歯止めがかからず、地域農業の担い手は高齢者や女性がほとんどであり、農業サイドでの栽培面積の大幅な拡大は望めない現状で、新たな施策を模索している状況である。

(2) 農業従事者の高齢化

本村では過疎化もさることながら、現在村に住んでいる住民(65歳以上 35.7%)あるいは農業従事者の高齢化が深刻であり、基幹的農業従事者の平均年齢が 68.4 歳(2000年センサス)と県内の中でも高く、今後、さらに高齢化が進みリタイアする農家が増すとともに、担い手の減少により、農業生産の継続が困難な地域の発生が懸念されている。

(3) 新たな担い手の育成

農業従事者の高齢化や兼業化により、今後担い手が減少する中で、地域農業の振興や特色ある農村の発展を図るためには、農業に携わろうとする企業等が農地を有効活用することにある。農業生産活動の取組は、地域農業や集落の維持発展のために極めて重要となっている。そこで、本特例を活用し、農業に携わろうとする企業等の参入により、農業生産活動や遊休農地の有効活用を図っていくこととする。

(4) 他産業の状況

本村においては、第二次産業のほとんどが村内の建設業に就業する兼業農家であるが、近年の公共事業の減少による過剰な労働力の効率的な活用を図るため、雇用の受

け皿が求められてきており、また、製造業においても景気の低迷を反映して、雇用の悪化などによる産業の活力が失われつつある。一方では越後三山只見国定公園を中心に大自然、雪、温泉及び昭和 58 年度からは当時のブームに乗り「さんさい共和国」による地域振興を図ることによって、知名度は向上し多様な観光を求めて観光客は訪れてきたものの、景気の低迷や多様な余暇活動、イベント内容のマンネリ化等々により、入り込み客は横ばい傾向である。

このため、入り込み客の増加を図るためには観光業にとっても農林水産資源を活用した食のあり方が最も重要な課題となっている。山村生活と農林業を基軸とした地域振興のためにも、農業の労働力に企業等が参入することにより、労働力を確保することが期待され、観光と結び付いた村づくりを進めることができる。

5. 構造改革特別区域計画の意義

本村における農業は、地域性を活かした特産品開発とともに、観光と農業の連携による地域づくりが課題となっている。しかしながら、過疎化、高齢化による担い手不足により農地の維持が厳しい状況である。一方、食の安全に対する意識の高まりとともに、農山村での農作業体験、自然体験等により、中山間地域への農業に対する期待が大きくなっており、山菜、ソバを始め農産物の今後の需要が見込まれている。

この様な中で、農林業の多様な担い手の育成が本村の主要施策となっているが、特別豪雪地帯ということで、年間を通しての農業経営が難しいこともあって、担い手の確保が困難となっている。このため、農地法の特例を活用し、企業等と連携を図り、遊休農地の有効利用と山菜、ソバ等の地域特産品の生産拡大、加工販売の研究による新たな特産品の開発を進め地域振興を図る必要がある。また、「さんさい共和国」として地域振興を図り山菜を中心に誘客を行ってきたが、都市住民ニーズの多様化等により近年は横ばい状況で新たな目玉商品開発が急務となっていた。そこで、特定農業者による濁酒製造を行うことにより、魚沼米の付加価値をさらに高めることができる。また、濁酒に適した食材として伝統のある山菜料理を濁酒と組み合わせる提供することにより、山菜をさらに活かすことができ、なおかつ濁酒による誘客効果も期待され、「さんさい共和国」の再生と地域を誇りに思う住民の意識改革を図ることができる。

このことは、構造改革特区により村が目指している「農林業を基軸とした人づくり村づくり」を地域住民が一体となった取り組みが期待される。また、企業等の労働力を活用し、中山間地域農業の新たな担い手として農業へ参入することは、遊休農地の解消や後継者のいない農業の停滞した中山間地域の振興や農業所得の向上といった効果を生み、濁酒製造については停滞している農山村に活力を与え、都市農村交流による入り込み客の増加と波及効果による地域経済の振興を図ることができ、全国的な構造改革へと波及されるものとして期待される。

6. 構造改革特別区域計画の目標

- (1) 農業生産法人以外の法人による農業への参入を認めることにより、担い手の減少が進んでいる農業経営に対して、農業外からの新たな担い手の確保が図られ、担い手不足による農地の遊休化を防止するとともに、企業的な経営感覚による安定的な農業経営の実現を図る。

また、企業等が遊休農地を活用した、地域の基幹作物である米やソバを中心とした土地利用型の農業経営を開始することで、農地のもつ洪水防止機能などの多面的機能の維持につながり、これにより農地の保全を図る。

- (2) 当該地域の雪国ならではの気候、風土による魚沼米の生産等の地域的要素を活用して濁酒を製造し、都市住民との交流を図るうえで、新たな特産として本村を訪れる人に飲用として提供することによって地域経済の振興を図る。
- (3) 地域に根ざした特定法人が農業経営を行うことにより、繁忙期のパート雇用の拡大が図られるとともに、高齢者や女性をはじめ様々な人材の活用により雇用の確保、所得の向上を図る。
- (4) 本村では農業が基幹産業となっているが、魚沼米の産地であるため、稲作に特化されているが、農業振興を図ることにより地域の産業振興等に結び付くようなシステムづくりを目指している。農山村のもつ多面的機能を活かし、農村風景を守り育てながら、農業従事者の確保育成を図るため、農林業に意欲を持ち、安定的な経営を目指して、多様な分野から農業に取り組む企業等の主体的な取組を促進し、地域産業の振興を図ることを目標とする。
- また、地域の食文化の復活や生産作物の付加価値を高める農産物加工、販売など地域に根ざした新たな起業家を促進する。
- (5) さんさい共和国として山菜を観光資源として誘客を図ってきたが、新たに濁酒と濁酒に適した料理として山菜料理を組み合わせ提供することによって、さらなる交流人口の拡大が図られると共に、地場産業でもある山菜をより活かすことができ、お互いが連携した「さんさい共和国」としての再生を目指していく。

7. 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

(1) 地域特産品の振興

山菜栽培が推進され、高齢者及び女性を中心に取組が行われてきている。今後遊休農地や水田の畦畔を含め生産拡大と加工販売の研究による新たな特産品の開発により地域振興が図られる。併せて安定販路の拡大に取り組み所得の確保を図る。

- ・山菜栽培の作付面積の増加
平成20年度末で2 haの増加（見込み）

(2) 中山間地農業への新たな担い手創出効果

企業等の農業参入により農業の労働力不足が解消され、地域農業へ活力を与えるとともに、遊休農地の有効活用により、農地の持つ多面的機能の維持が図られる。また、企業等がかかえている農業経験者の技術と労働力が有効に活用されるとともに、農業に興味のある若者の新しい職場となり農業後継者の育成が図られる。これらの効果は次のとおり見込まれる。

- ・法人の農業参入の波及：平成20年度末で2企業の増加（見込み）
平成20年度末には約30 haほど企業等による耕作が見込まれ、今後の耕作放棄地発生の抑制が期待される。
- ・遊休農地の解消面積：平成20年度末で3 ha（見込み）
（対象地域内の遊休農地面積13.5 ha 全体の約22%）
* 現状の遊休農地で復田可能な耕地は20%程度である。

(3) 都市農村交流による地域の活性化

「さんさい共和国」の再生を行うために、農業集落等の地域住民活動との連携を図り、農林業を通じての都市との交流を実施することにより、農業生産の向上や農村景観の保全につながり、地域振興が図られる。

(4) 特定農業者による濁酒の製造と提供を通じての地域経済活性化の効果

都市との交流事業は都市住民の単なる田園回帰のみでなく、都市と農山村を結ぶ新たな意識の接点となり得る。農山村地域が都市住民に対して提供できるものとして、濁酒など地元の歴史や文化などの特性を意識した農山村らしいもてなしから生み出される時間の過ごし方がある。一方、農山村で生活する者にとっても、地元の文化を意識した取組を行うことによって、改めて地域の誇りを再認識するきっかけになるなど、都市住民や農山村地域で生活する住民双方が、相応の心の所得を得る効果が期待でき「さんさい共和国」の再生が図られ、地域に活力を取り戻すことが可能となる。

期待される経済的社会的効果

・新規起業

農家民宿や農家レストラン、自家製による酒類製造など小規模ながらも地域に根ざした新たな起業が期待される。

	現在	16年度目標	20年度目標
農家民宿等の開業件数	8件	8件	10件
自家製による酒類製造件数	0件	2件	3件

農業生産法人以外の法人が新たに農業に取り組むことで、他分野から農業分野への労働移転により雇用が確保される。

	16年度目標	20年度目標
企業等による農業生産活動件数	1件	2件
農業生産活動での雇用人数	3人	10人

8. 特定事業の名称

707：特定農業者における濁酒の製造事業

1001：地方公共団体又は農地保有合理化法人による農地又は採草放牧地の特定法人への貸付事業

9. 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

・環境にやさしい農業推進

農業生産活動に伴う環境への負荷を極力軽減し、本来農業が持つ自然循環機能を一層発揮することにより、近年消費者の安全で安心な農産物消費を求める志向にあわせ、トレーサビリティの徹底やいもち病に強いコシヒカリ栽培などに取り組む。また、安定高品質米生産のため農家の意識改革を始めとした農業生産の取り組みを支援していくとともに、一部農家で有機栽培が行われているが普及啓蒙活動に努めていく。

- ・農地流動化対策事業の推進

本村農業における担い手の高齢化は著しく 65 歳以上で約 60%、60 歳以上では 75%を占めるなど深刻な状況になっている。また、村の人口も年々減少し平成 15 年度には 2,000 人を割り活力の低下や遊休農地拡大の要因となっている。このまま推移するとすれば、近い将来、農業生産が困難な地域が発生することが懸念される。本村では担い手がない農家や兼業農家の農地について、認定農業者を中心に集約を行ったり、農業公社へ作業委託を行うことによって遊休農地の拡大防止に努めている。今後とも村、農業委員会、農協、土地改良区、農業公社等の関係機関、団体が一体となって農地の流動化に取り組むことにより、安定的な農業経営体の育成と遊休農地の拡大防止に努めることとする。

- ・グリーン・ツーリズム事業の推進

本村においては、グリーン・ツーリズムという言葉がでてくる前から「さんさい共和国」として都市農村交流を進め入り込み客の増加を展開してきた。特区の導入にあたって、特区とグリーン・ツーリズムが連携をとれるようなチームを作り、相乗効果を生み、経済効果に結び付くよう多様な農林業の展開を図る。

- ・特区内で開催されるイベントとのタイアップ

「さんさい共和国」のイベントを通じて都市との交流を展開し 20 年近くが経過し、この間リピーターも増えてはきたが、内容などがマンネリ化し参加者も減少傾向にあった。今後も、雪や大自然を活用しながら、体験型交流の推進を図り、訪れた方々を農家民宿等でもてなすことにより、地域文化や郷土の食文化に接しながら地元住民との交流を図ることでリピーターや入り込み客の増加を図る。

- ・地産地消の推進

地元で採れる農産物や山の幸、川魚などの食材を使って、高齢者・女性が培ってきた技術や知恵などをまとめた伝統的郷土食やこれをアレンジした新しいメニューなどをレシピにまとめ、農家民宿や農家レストランで提供する。また、地元消費を進めるため農家と民宿旅館などとの地域内流通システムの構築を図り、生産者の顔の見える食材の提供を図っていく。

(別紙)

1. 特定事業の名称

番 号 : 7 0 7

特定事業の名称 : 特定農業者による濁酒の製造事業

2. 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

構造改革特別区域内で農家民宿等の酒類を自己の営業場において飲用に供する業を併せ営む農業者で、その特別区域内に所在する自己の製造場において、自ら生産した米を原料として濁酒を製造しようとする者

3. 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定を受けた日から

4. 特定事業の内容

事業に關与する主体

(ア) 上記 2 に記載の認定計画特定農業者で、酒類製造免許を受けた者。

事業が行われる区域

(ア) 新潟県北魚沼郡入広瀬村の全域

事業の実施期間

(ア) 上記 2 に記載の認定計画特定農業者が、酒類製造免許を受けた日以降

事業により実現される行為や整備される施設

(ア) 上記 2 に記載する認定計画特定農業者が濁酒の提供・販売を通じて地域の活性化を図るために濁酒を製造する。

5. 当該規制の特例措置の内容

全国各地でのグリーン・ツーリズムの展開による都市農村交流の推進により、ふるさとの伝統文化に対する高まりが地域振興に寄与している。都市住民が各種農林業体験を通じて農山村の暮らしを味わい、雪国の素朴で心温まるもてなしに触れることにより、ゆとりと心の豊かさを実感し、人間本来の感性を取り戻すことが本構造改革の目的の一つでもある。もう一方で、都市住民との交流を通じて農山村で暮らす村民が、ふるさとの自然や地域資源の素晴らしさを再度認識し、自らの暮らしを見つめ直すことで「さんさい共和国」の再生を図ろうとするものである。雪国という酒造りに適した自然環境、清冽な酒造りに適した水などの地域的要素と交流人口の拡大を図りたい本村において、上記 1 の特定事業「特定農業者による濁酒の製造事業」を導入することで、特定農業者が自ら生産した米を原料とする濁酒製造を可能とし、飲用として提供することは、他地域との差別化で入広瀬村独自の農家民宿等の形態を創出しながら、農林業体験や地産地消といった「さんさい共和国」に適したグリーン・ツーリズムの確立を図り、地域振興を目指すものである。

(別紙)

1. 特定事業の名称

番 号 : 1 0 0 1

特定事業の名称 : 地方公共団体又は農地保有合理化法人による農地又は採草放牧地の
特定法人への貸付事業

2. 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

構造改革特別区域内で特区の認定を受けて、上記 1 の特定事業の用に供するため、
農地所有者から所有権又は使用及び収益を目的とする権利を取得する入広瀬村又
は農地保有合理化法人

構造改革特別区域内で特区の認定を受けた入広瀬村又は農地保有合理化法人から
農地等の貸付けを受けて農業に参入する農業生産法人以外の法人

3. 当該規制の特例措置の適用の開始の日

認定を受けた日から

4. 特定事業の内容

事業に関与する主体

- (ア) 農地等を貸し付ける主体は、構造改革特別区域内で特区の認定を受けた入広瀬
村又は農地保有合理化法人とする。
- (イ) 農地等の貸し付けを受けて農業に参入する主体は、上記 2 に記載の特定法人と
する。

事業が行われる区域

- (ア) 新潟県北魚沼郡入広瀬村の全域

事業の実施期間

- (ア) 上記 3 に記載の適用開始日から

事業により実現される行為や整備される施設

- (ア) 上記 2 に記載する特定法人の農業への参入と農業経営に必要な付帯する各種農
業関連施設
 - ・ 農業経営面積30ha(水田、畑)
 - ・ 事業開始時に12ha、その後15haに拡大(平成18年)。最終的(平成20年)には30haの
農業経営が行われ耕作放棄地の発生防止が図られる。

5. 当該規制の特例措置の内容

特別区域内における農地の状況は、当該地域が全国有数の豪雪地帯であると同時に地
滑り地帯であり、1 / 20 以上の急傾斜農地が全耕地面積の 91.4 % を占めている。また、
圃場整備はほぼ完了しているとはいっても、30a 以上の圃場はなく地形上 1 枚当たりの
面積は狭く 7 a 程度と機械作業はできるが、効率が悪い状況となっている。このよう
に自然的・経済的・社会的条件が不利な地域であることから、農家一戸当たりの経営耕地
面積は県平均の 42.5 % にあたる 54a に過ぎず、全農家 309 戸のうち 65 歳未満の農業専
従者がいない割合は 92.2% にのぼり、後継者がいる農家は 25% に過ぎない状況にある。

そのため離農等による耕作放棄が進み昭和 60 年に 404 戸 252ha あった農地が平成 12 年には 175ha (減少率 30.5 %) まで減少している。また、平成 12 年の農林業センサスによる耕作放棄面積 13.5ha と全経営耕地面積の 7.7%であり、耕作放棄地のある農家数も昭和 60 年の 29 戸とから 3.2 倍の 94 戸と、今後さらに遊休農地が増加すると思われる。このようなことから、農業内部だけでの対応ではこれらの問題が解決できない状況となっている。そのため、本村としては企業による新たな農業参入を図ることで不足している農業労働力を確保するとともに、特産品の生産拡大や高付加価値作物への取り組み等を行うことにより、農業及び地域振興、農地の多面的機能の維持が図られることから、当該特例措置の適用は適当であると考えられ、要件適合性が認められると判断した。

なお、参入する法人の要件は、法人に農業担当役員が 1 名以上いること。当該担当役員が年間 150 日以上農業に従事すること。また、法人の行う農業が適正かつ円滑に行われるため、法人と村との協定を締結すること。この協定を通じて主体的に土地利用調整に関与し、村の責任の下で農地保全を主体的とした公益性の非常に高い農業経営になることから、高齢農家でも安心して農地を貸し付けることができ、農地の流動化が推進される。また、農業に必要な土地の取得は、村が農地所有者から借り受け、法人に貸し付ける方法により行うこととする。